

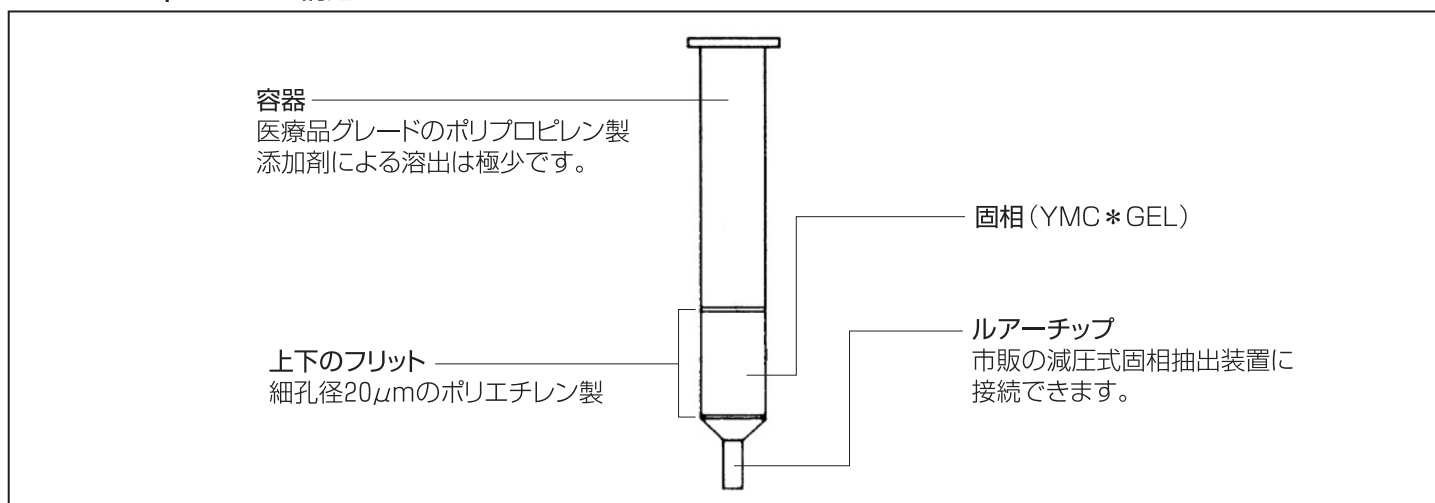
■はじめに

YMC Dispo SPEは、高品質のYMC * GELを充填した試料前処理のための使い捨て固相抽出カートリッジです。弊社はYMC Dispo SPEの製造にあたり厳格な品質管理を行い、一定の品質の製品をお客様にお届けしています。性能を十分に発揮させていただくために本使用説明書をご一読のうえ、正しくご使用いただきますようお願いいたします。

■YMC Dispo SPEの種類

製品番号	固相充填剤の種類	充填剤重量／容器容量	充填剤粒子径	充填剤細孔径	充填剤比表面積	およそのポイドボリューム
XQSPEC18101	C18	100mg/1mL	40-63 μ m	12nm	300m ² /g	0.1mL
XQSPEC18203	C18	200mg/3mL				0.2mL
XQSPEC18503	C18	500mg/3mL				0.5mL
XQSPEC18A06	C18	1000mg/6mL				1.0mL

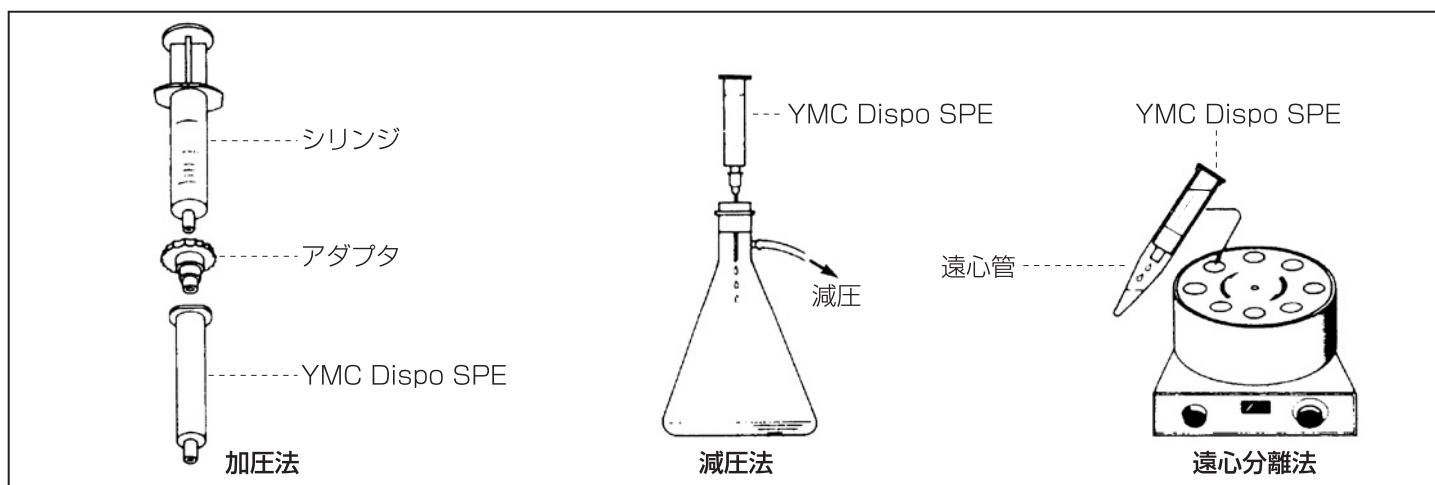
■YMC Dispo SPEの構造



■YMC Dispo SPEの使用方法

1) 一般的な使用方法

下記の3通りの方法で使用できます。少量処理には加圧法、大量処理には減圧法が適しています。



2) 通液スピードについて

再現性と回収率の良否に影響しますので、できるだけゆっくりと一定スピードで通液してください。市販の減圧式固相抽出装置にも接続できます。

3) 試料の負荷

再現性と回収率を高めるためには、試料が過負荷にならないようご注意ください。

負荷量の目安としては充填剤重量の1%~5%が一般的です。目的や試料の濃度に応じて、カートリッジの充填剤重量と容器容量を選択してください。

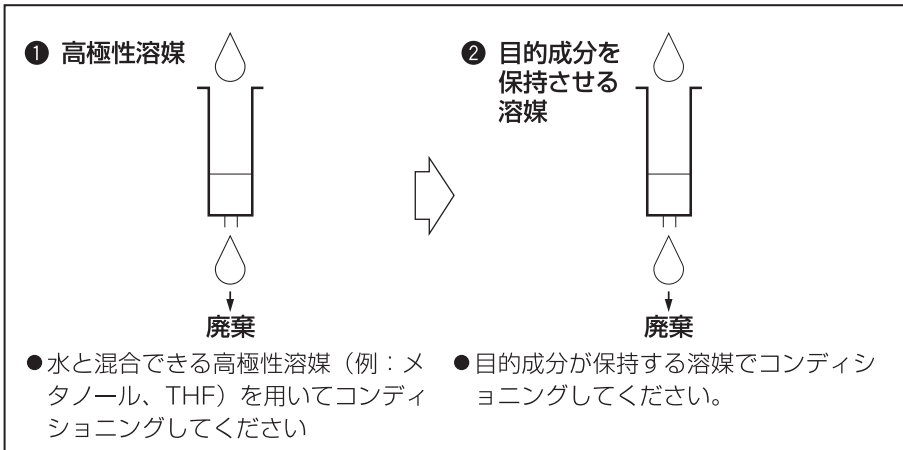
YMC Dispo SPEの使用手順

目的成分を保持させる場合

1 STEP1 : カートリッジのコンディショニング

固相の充填剤は乾燥状態になっているため、試料溶液をカートリッジに負荷する前に適当な溶媒で充填剤をコンディショニングしてください。

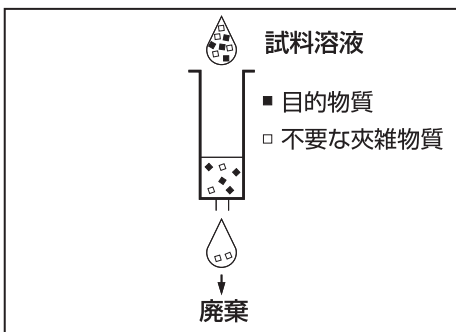
C18 (YMC Dispo SPE C18) の場合



(注1) コンディショニングの間、固相を乾燥させないように注意してください。

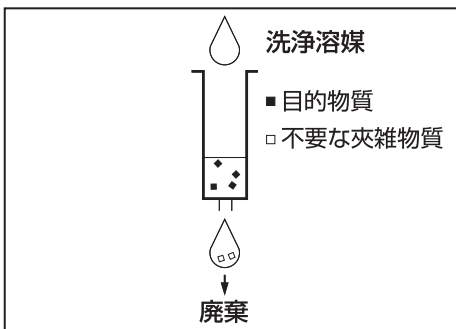
(注2) コンディショニングに使用する溶媒量は、固相重量の通常5-10倍です。(例500mgの固相であれば約2.5-5mL通液してください。)

2 STEP2 : 試料の負荷



- イオン性物質を効率よく前処理するためには、適当な緩衝液やイオン対試薬などを加えて固相充填剤への吸着力をコントロールしてください。
- 定量分析を目的とする場合は試料溶液を正確にはかりとってカートリッジに注入してください。(過負荷にならないように注意してください。)

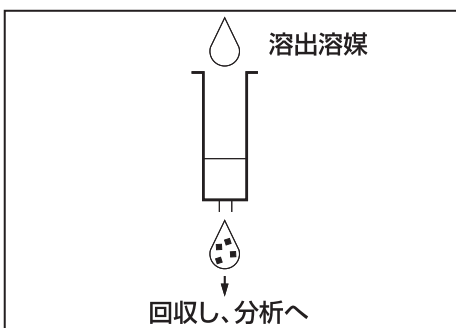
3 STEP3 : 夾雑物質の洗浄



不要な夾雑物質の除去（洗浄）に際しては下記の点に留意してください。

- ご使用になる除去（洗浄）用の溶媒で目的物質が流出しないことを確認してください。
- 試料中の夾雑物質が十分に除去できていることを確認してください。

4 STEP4 : 目的物質の溶出



- 目的物質を溶出させるためには少なくとも、カートリッジのボイドボリュームの2倍程度の溶媒を通液させる必要があります。
- C18に保持された目的物質は、試料を吸着させた時よりも低極性の溶媒で溶出させますが、必要に応じて緩衝液等との混合溶媒を使用してください。
- 固相抽出後の分析手段によっては溶出溶媒を考慮する必要があります。(例：HPLCを使用する時は、HPLCの溶離液と相溶性のある溶媒を使用してください。)